

**令和元年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（建築）】**

専門論文試験課題

<課題>

木造で建てられている建築物は、戸建住宅を除き数は多くありませんが、木造建築物を巡る多様な消費者ニーズに対応する必要があることや、防火についての技術的知見の蓄積、木造耐火関連技術の開発等が進んだことから、建築基準法等の木造建築物に係る制限が合理化され、これまで木造以外で建築されてきた中層規模の建築物も木造化されている状況にあります。

また、木材は二酸化炭素を吸収して炭素を固定し、くり返し生産できる循環型の資源であり、木造建築をつくる建設産業と林業・木材産業は、持続可能な社会の構築に貢献する産業として期待が寄せられています。

このような中、本県は、スギ素材の生産量が平成3年以来連続して日本一となるなど、我が国を代表する木材供給県となっており、木材の需要拡大を推進し、地域資源を活用した地域振興を図るため、公共建築物等の木造化や内装木質化に積極的に取り組んでいます。

そこで、建築物を木造化や内装木質化するにあたり、配慮すべき点や木造以外の構造との比較、普及促進策などについて、あなたの考えを述べなさい。